

第 4 号

こんにちは 青葉のまちセンです



編集・発行 青葉まちづくりセンター
青葉町 3 丁目 (青葉会館内)
8 9 2 - 8 1 7 7 ・ FAX 8 9 2 - 6 6 1 3

まちづくりセンター発の情報紙です。前号から、本文の文字を大きくしてみました。お気づきでしたか? ご意見・ご感想・投稿大歓迎。よろしくお願ひします。

「ふれあいのつどい」開催

9 月 3 日 (土) 青葉小学校で、世代間交流事業「ふれあいのつどい」が、開催されました。今年で 4 回目を迎えるこの催し。自治連合会をはじめ青少年育成委員会や民生児童委員協議会、老人クラブなど、多くの団体による協力の下、料理教室やサイエンスショー、プロ棋士との将棋対決など、さまざまな趣向で、来場者に楽しい一時を過ごしてもらいました。

ただし、残念ながら、来場者数はやや伸び悩み。来年に向けては工夫の余地もありそうで、事務局を務めるまちセンにとっても、大きな宿題となりました。



本格茶道に緊張気味



早く焼けないかな



手づくりの「もぐらたたき」も登場

環境部会案まとまる

「青葉の『環境問題』って?」と、活動を続けている青葉地区まちづくり会議の環境部会 (伊藤 安明座長) で、このほど、第 1 次部会案がまとまりました。

部会では、青葉地区のいいところ、困ったところを洗い出した上で、自分たちにふさわしい取り組みを、“公園や緑地の積極活用を通じた環境保全意識の向上”と設定。地区内にある 12 の公園と

3つの緑地を、もっと身近な場所にしていこうと考えました。名付けて「青葉公園サポーターズ」。

その手始めとして、青葉中央公園を舞台に、いくつかの仕掛けを企画しています。“公園のステージを活用したイベントの開催”、“公園内で行う自分たちの花壇作り”、“日時・場所限定での焼肉解禁”などなど。実現に向けては、いくつかの課題もありますが、地区を挙げて取り組めば可能なものばかりです。こちらは名付けて「青葉中央公園ジャック」(物騒なのは名前だけです)。

詳しくは、9月29日(木)のまちづくり会議全体会議で発表の予定です。興味のある方は、まちセンまでご連絡を。

10/8(土)は秋の公園散策に

10月8日(土)午前10時から、青葉中央公園で秋の自然観察会を実施します。

街中にありながら、公園の奥には自然がいっぱい。迫り来る冬を前にした木々や生き物の様子を、ゆっくりと歩きながら観察してみませんか(昼食・懇談を含めて約2時間半を予定)。

現在、参加者を募集中。人数把握のため、事前にまちセンへの申し込みが必要です。受け付けは9月30日(金)まで。



春に実施した観察会

シリーズ?まちセンの謎

青葉会館のお話(続き)

青葉会館は、市の区分上「地区会館」というもので、敷地も建物も市が所有しています。現在、青葉会館の建て替えが課題となっていますが、このような場合、市で全額を負担するのが原則です。

建て替えは、古いものから順に行います。全市的に見ると、青葉会館の順番はまだ後の方なのですが、市営住宅の建て替えに合わせて行えば、かなりの部分を国に負担してもらえるため、その繰り上げが検討されているわけです。

ただし、市や国で建設費を負担する場合、施設の規模には一定の基準があり、それを超える分については、地域の皆さんの負担となります。その「基準」は、どのような施設にするかによって異なりますので、青葉会館の場合も、どのような施設が必要か、それにはどの程度の規模が適切か、そのために地域でも負担をするか(どの程度負担できるか)といった点について地域の中で、また市と地域の皆さんとの間で、十分話し合っておく必要があります。

【所長のひとり言】

青葉地区で、立て続けに放火がありました。幸い、人的被害はありませんでしたが、放火はれっきとした「犯罪」です。「いたずら」では済まされません。ただでさえ殺伐としたこの世の中、常に監視の目が必要となるような地域には、したくありませんね。(節)